

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目① 基本戦略の実施状況

平成25年7月8日

経営展望における基本戦略	進捗状況	H24年度の実績	今後の取組	備考
1. 市場外部との連携と情報発信の強化				
①提携ショップの推進	○	市場名称使用承認：11件	引き続き市場の販売力を高めるため、提携ショップの展開等を実施する。	量販店 阪急オアシス(毎月5日に市場まつりを開催) ダイエー(毎月第3土曜日に市場まつりを開催) 平和堂(熊本県フェアの開催)
②冠イベントの推進	○	イベント開催回数：阪急オアシス等 23回	引き続き消費者へのアピールや消費拡大を目的に販売促進イベントを実施する。	
③卸・仲卸連携による産地との交流	○	産地との連携事業：鳥取県等 22回	引き続き市場の集荷力を高めるため、産地との交流イベント実施する。	産地 鳥取県、山形県、長崎県、福岡県、福島県、 長野県、熊本県、石川県、岐阜県、北海道、 大分県、徳島県、佐賀県
④卸・仲卸連携による量販店対応の推進	○	量販店へのトップセールス：12社	引き続き量販店の要望に対応できるよう、卸・仲卸が連携して実施する。	
⑤大学や食育関係団体等と連携した取組の推進	○	大学等との連携事業：18件	引き続き消費拡大や人材育成を図るため、大学等と連携して実施する。	大 学 梅花女子大学、追手門学院、大阪大学医学系 研究科、大阪成蹊学園
⑥場内のプロ集団による情報発信の推進	○	一日お魚料理教室の開催 視察・見学者の受入れ：1,981人	引き続き場内のプロ集団の知識・経験を生かした情報発信を実施する。	
2. 市場内への外部活力の導入				
①ネット販売や提携ショップを通じた新たな消費者ニーズの取り込み	○	H24年11月にネットショップをオープン。	引き続き新たな消費者のニーズを取り込むため実施する。	ネットショップ 平成24年11月にオープン。 運営は有限会社キャンビー。
②新規仲卸業者の誘致の検討	△	青果・水産ともに1業者が新規参入。	新規業者の円滑な参入を進める。	廃業 青果…3業者 水産…2業者
③近郊売場の内容充実と売買参加者への新規参入の促進	△	1業者が新規参入。	大阪産(もん)をはじめ近郊売場への集荷に努め、売場の魅力を高める。	廃業 2業者 未更新 3業者
④市場の魅力を高める関連事業者の誘致	△	診療所の誘致を図った。	平成25年度に診療所、薬局を開設する。また、飲食店、小売店の誘致に向けてPR活動を行う。	市場施設新規使用許可件数 21件 廃業等による施設返還件数 17件
3. 定温流通・加工機能の充実				
①大屋根・テント・空店舗利用など機動性・柔軟性のある施設整備の実施	△	金融機関への金融棟への移転に向けて施設整備を検討した。	金融棟への入居に向けて施設整備を行う。他の施設についても場内ニーズを把握しながら施設整備を行う。	
②場内冷蔵庫の改修と営業戦略の構築	△	4者会議(流通対策室、府市場、食品流通センター、北部冷蔵)を開催し検討した。	引き続き4者会議で検討を行い、経営改善策を策定する。	
③場内業者による自主的な施設整備	○	生鮮センター北側保留地に青果物の保管設備を設置。	場内ニーズを把握しながら定温流通施設や加工施設の整備を促進する。	

○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
 △：実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
 ×：未実施

4. 清潔で美しい市場づくり			
①トイレなど維持改修のスピードアップ	○	加工施設及び水産棟Aブロック他7箇所のトイレ改修を実施。	平成25年度は、青果仲卸棟1階トイレ(4カ所)、水産棟中2階トイレ(4カ所)の改修を行う。
②場内啓発と清掃の徹底	○	場内一斉大掃除を年4回実施。	引き続き場内一斉大掃除を実施する。清潔な市場づくりの場内啓発を行う。
③場内業者における品質管理対策の強化と食品衛生検査所の検査	○	品質管理対策の強化として、品質管理高度化規範を4卸会社全て策定した。食品衛生検査所において以下の検査を実施。 細菌検査：889検体、2,448項目 理化学検査：1,767検体、9,535項目	品質管理高度化規範に基づき、品質管理が行われるよう促進する。引き続き安全で安心できる食品の提供ができるよう検査を実施する。
④廃棄物減量化の推進	○	生ごみ(青果くず、魚あら)及び発泡スチロールを外部の施設でリサイクル処理。 ・ごみ焼却量 6,341t(H23 7,260t) ・生ごみリサイクル量 2,852t(H23 2,517t) ・発泡スチロール量 215t(H23 191t)	引き続き生ごみ及び発泡スチロールを外部でリサイクル処理する。
⑤カラス等有害生物対策の強化	○	カラスの捕獲を年10回実施した(捕獲数177羽)。また、住処となる樹木の剪定を行った(青果側)。	引き続きカラスの捕獲を実施する。ハト対策として、卸売場内にハトよけネットの設置を検討する。
⑥分煙の徹底	△	分煙の啓発を実施。	喫煙所以外での禁煙を徹底する。
5. 安全で環境にやさしい市場づくり			
①省エネの推進と新エネ利用の検討	○	管理棟3階西側事務室照明、管理棟サイン看板のLED化を実施。	太陽光発電の設置を検討する。
②自動車環境規則の徹底と低公害車の導入促進	△	府の流入車規制の立入検査に協力。また、流入車規制に関する啓発を実施。	引き続き府の流入車規制への協力、啓発を行う。低公害車の導入促進に向けてPRする。
③市場内外の交通ルールの徹底	△	規制標識の取替え、駐車ルール遵守の啓発を実施。	引き続き交通ルール遵守の啓発を行う。
④市場周辺の違法駐車等への対応	△	関係行政機関(府茨木土木事務所、茨木市等)に違法駐車等の改善の要請を実施。	違法駐車・迷惑駐車の改善を図るため、関係行政機関等に要請を行う。
6. 災害等に強い市場づくり			
①耐震補強の実施	○	冷蔵庫棟の耐震工事を実施。	H25 水産棟・管理棟の実施設計を行う。
②BCP(業務継続計画)の策定	△	近隣中央市場に対して情報収集を行った。	引き続き情報収集を行い、早期の策定を目指す。
③非常用発電設備の強化	○	非常用発電機設備改修工事の基本設計を実施。	H25 非常用発電機設備改修工事実施設計 H26 同 実施予定

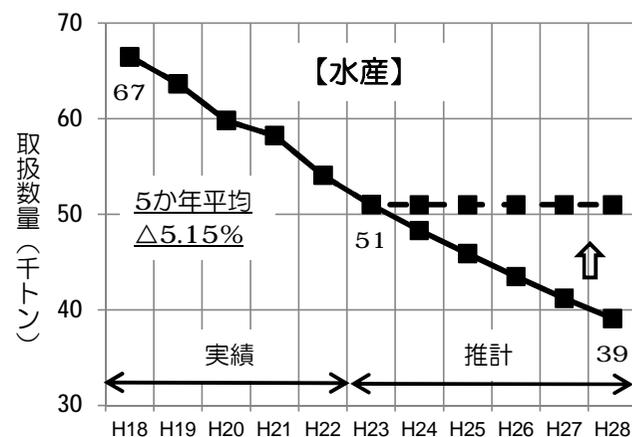
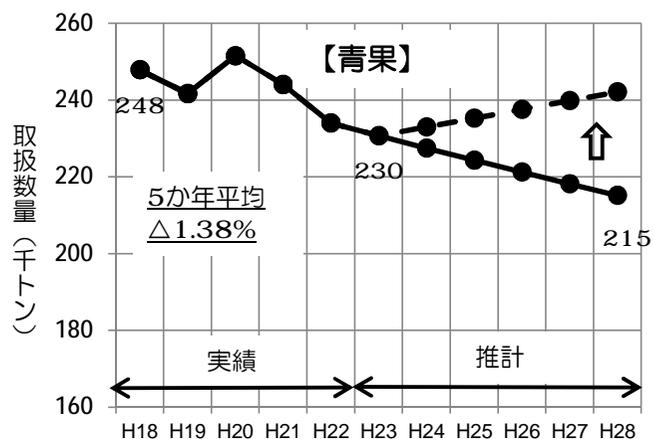
○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
△：実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
×：未実施

7. 市場機能の再構築				仲卸業者の廃業等による施設返還件数 7件
①仲卸業者の規模拡大と空店舗の活用	△	空店舗の活用を働きかけた。	引き続き空店舗の活用を働きかける。	
②荷捌き場、駐車場の再編整備	△	場内道路に大型車両駐車を12区画増設するとともに、不法駐車を整理。	場内ニーズに合わせて駐車場の確保を図る。	
③場内における駐車場利用の見直しと地上部分の有効活用	△	不法駐車を立体駐車場・既存駐車場への誘導を図った。	引き続き不法駐車を排除し、地上部分の有効活用を図る。	
④加工食品卸売場と一体となった活性化	△	株式会社大阪府食品流通センターの民営化を行うため、府保有株の売却方法等を検討した。	平成25年度に民営化に向けて企画提案方式による公募売却を実施中。 (市場とともに「競争力のある総合食料物流基地」を目指す府の施策との適合性等を評価項目とする。)	

○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
△：実施をしているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
×：未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目② 取扱数量に関する目標の達成状況



【取扱数量の目標】

(単位:トン)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青果	233,000	235,300	237,600	239,900	242,200
水産物	51,000	51,000	51,000	51,000	51,000
合計	284,000	286,300	288,600	290,900	293,200

【平成24年度の実績】

	平成24年度実績	目標との差	
青果	226,777 トン	▲ 6,223 トン	(97.3%)
水産物	51,413 トン	413 トン	(100.8%)
合計	278,190 トン	▲ 5,810 トン	(98.0%)

【評価】

青果は、目標値を達成できなかったものの、水産は目標を達成。

直接取引の増加、仲卸業者の減少等に伴い、前年並みの取扱数量を確保することができなかった。

また、単価安の影響により府市場を敬遠された産地もあり、集荷力を高めるため、産地との交流イベントなどを推進する。

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目③ 施設整備の実施状況

	施設整備の名称	整備予定計画	実施状況
1	特別高圧受変電設備改修工事	平成20年度から平成24年度	平成24年度終了。
2	電気室高圧受変電気設備改修工事	平成24年度から平成28年度	平成24年度から工事開始(平成28年度まで)。
3	低圧幹線(バスダクト)設備改修工事	(収支状況を考慮して実施)	平成26年度、平成27年度に実施予定。
4	昇降機設備改修工事(10基分)	平成20年度から平成24年度	平成24年度終了。
5	昇降機設備改修工事(8基分)	平成24年度から平成28年度	平成24年度に実施設計。平成25年度から順次工事開始(平成28年度まで)。
6	冷蔵庫棟耐震改修工事	平成22年度から平成24年度	平成24年度終了。
7	管理棟耐震改修工事	(収支状況を考慮して実施)	平成25年度に実施設計。平成26年度から工事開始(平成27年度まで)。
8	水産棟耐震改修工事	(収支状況を考慮して実施)	平成25年度に実施設計。平成26年度から工事開始(平成27年度まで)。
9	非常用発電設備改修工事	平成24年度から平成26年度	平成24年度に基本設計。平成25年度に実施設計。平成26年度に工事。

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目④ 収支計画の達成状況

(単位:百万円、税込)

【市場会計の収支計画】 (開設者会計と指定管理者会計の合算、納付金は計上せず)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市場事業収益	1,835	1,836	1,834	1,839	1,843
営業収益	1,673	1,674	1,676	1,677	1,679
売上高割利用料金	239	241	242	244	245
施設利用料金	1,057	1,057	1,057	1,057	1,057
雑収益	377	377	377	377	377
営業外収益	162	162	158	162	164
市場事業費用	2,036	2,076	2,028	2,059	1,957
営業費用	1,989	2,025	1,975	1,998	1,892
市場管理費	1,578	1,551	1,499	1,499	1,499
減価償却費等	411	474	477	499	393
営業外費用	46	50	52	60	65
予備費	1	1	1	1	1

【実績】

24年度決算	計画との比較	主な増減要因
1,800	▲ 35	
1,650	▲ 23	
221	▲ 18	取扱金額の減少
1,039	▲ 18	施設利用面積の減少
390	13	光熱水費単価の増加
150	▲ 12	他会計補助金(一般会計からの繰入金)の減少
1,868	▲ 168	
1,800	▲ 189	
1,386	▲ 192	一般管理費、委託料等の経費縮減による減少
414	3	大規模改修の進捗に伴う資産減耗費の増加
68	22	廃業者の滞納に係る不納欠損処理等による増加
0	▲ 1	

(以下、開設者会計)

単年度損益	▲ 237	▲ 256	▲ 240	▲ 250	▲ 133
減価償却を除いた 資金ベースの収支差額	174	218	237	249	260

▲ 143	94
260	86

市場事業資本的収入	326	162	477	268	147
企業債	305	140	455	245	123
出資金	21	22	22	23	24
市場事業資本的支出	800	387	966	628	374
建設改良費	757	343	922	583	327
企業債償還金	43	44	45	46	47

251	▲ 75	
230	▲ 75	建設改良費の圧縮に伴う企業債発行の減少
21	0	
575	▲ 225	
532	▲ 225	大規模改修に係る経費の入札による圧縮
43	0	